

福島はあなた自身

災害と復興を見つめて

2018年
2月9日
発行

2017.3.18 東京大学本郷キャンパスでのシンポジウムより

編者 一ノ瀬正樹

東京大学大学院哲学研究室教授

早野 龍五

東京大学物理学名誉教授

中川 恵一

東京大学医学部放射線医学教室准教授
放射線治療部門長

正直、ほっとしている。ついに、東日本大震災の真の教訓を後世に伝える本物の書が出版された。福島原発事故をめぐる、数多の著作や番組が世に出たが、当時、渦中にいた私は、どれも大事な核心が抜け落ちていることに、忸怩たる思いを持ち続けてきた。兎に角、多くの人々に本書を読んでほしい。多くの尊い犠牲と筆者たちの無私で献身的な努力によって生まれた教訓集だ。災害だけでなく、人は、突然、重大な決断を迫られる、そんな時に、悔いのない決断をするために本書を座右においてほしい。住民避難を推奨した専門家、迫ったメディア、決めた政治家、空気に逆らえなかった人々…どこで、何を、間違えたのか？「リスク・トレードオフ」が考慮されなかったのは何故か？その実相が明らかに。 東京大学・慶應義塾大学教授 元文部科学副大臣(当時) 鈴木 寛

福島はあなた自身

災害と復興を見つめて

2017.3.18 東京大学本郷キャンパスでのシンポジウムより

編者

一ノ瀬正樹

東京大学大学院哲学研究室教授

早野 龍五

東京大学物理学名誉教授

中川 恵一

東京大学医学部放射線医学教室准教授

放射線治療部門長

一ノ瀬正樹

相川祐里奈

桜井 勝延

安東 量子

早野 龍五

中川 恵一

後藤 あや

高村 昇

眞並 恭介



福島民報社

目次より

導 入

福島問題は私たち自身の内在的問題である

一ノ瀬正樹

第一部 あのとこの福島、そして避難弱者

あの時 福島原発付近の介護施設で何があったのか

相川祐里奈

避難を余儀なくされた介護施設

桜井 勝延

第二部 福島に暮らす、そして健康問題

福島で暮らす・暮らせないということ

安東 量子

測って、伝えて、袋小路。一どこで掛け違ったのだろう—

早野 龍五

避難行動と健康(一)～放射線の人体影響～

中川 恵一

第三部 福島の子ども、そして育児／甲状腺がん

震災後の母子保健：エビデンスをつくり、伝え、使う重なり

後藤 あや

クライシスコミュニケーション

～リスクコミュニケーションの経験から

高村 昇

避難行動と健康(二)

～福島での小児甲状腺がん～

中川 恵一

第四部 被災動物、そして動物倫理

被災動物は何を語るか

～原発事故後の牛、犬、猫たち～

眞並 恭介

被災動物、そして動物倫理の暗闇

一ノ瀬正樹

B5判 192ページ カラー **定価 2,000円+税**

福島県内書店、福島民報社本社、郡山本社、支社、支局、
福島民報販売店などでお求めになれます。

Amazonでも販売します。

お問い合わせ

〒960-8602 福島市太田町13-17
福島民報社事業局出版部
☎024(531)4182

福島民報社